

幼児教育学科

科目名： 幼児理解			担当教員 氏名： 青山 仁			
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
1	1年次	前期	専門科目	講義	選択	保育士資格指定科目(選択) 幼稚園教諭二種免許状科目(必修)
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:			保育エピソードや映像等により、具体的な子どもの事例に基づき授業を行う。			
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード	
幼児理解は、幼稚園教育のあらゆる営みの基本となるものである。幼児一人一人の特性に応じ、発達課題に即した指導を行うために、幼児の発達観や共感的理解について具体的な事例を通して学び、実践力を養う。					幼児理解 保育の観察と記録 個と集団 家庭支援 地域の子育て支援	
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		2. 5. 6. 9.	
A 知識・理解力	幼児理解の意義を理解している。					
A 知識・理解力	幼児理解から発達や学びを捉える原理を理解している。					
D 問題解決力	幼児理解を深めるための教師の基礎的な態度を理解している。					
D 問題解決力	幼児理解の方法を具体的に理解している。					
成績評価の方法・基準： 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト： %	レポート： 20 %	発表： 30 %	実技試験： %	その他： 50 %		
特記事項： 自分の幼児期の想起とそれに基づくディスカッションや発表等に対する姿勢も評価する、						
アクティブラーニング要素： 課題解決型学習 (ディスカッション、ディベート) (グループワーク) (プレゼンテーション) 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期： 8回目の講義から1週間以内に指示したレポートを提出する。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法： 小レポート及びレポートはチェック後返却します。						
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)		
				学習内容	学習に必要な時間(分)	
①オリエンテーション				【事後】①の復習		30
②幼児理解の意義				【事前】レポート作成 【事後】②の復習		60
③幼児理解から発達及び学びを捉える原理				【事前】 【事後】③の復習		30
④幼児理解を深めるための教師の基礎的な態度				【事前】 【事後】④の復習		30
⑤幼児理解のための観察及び記録について				【事前】 【事後】⑤の復習		30
⑥個と集団の関係を捉える意義及び方法				【事前】 【事後】⑥の復習		30
⑦幼児のつまずきを理解するための手立て				【事前】 【事後】⑦の復習		30
⑧保護者の心情及び基礎的な対応について				【事前】 【事後】課題レポート作成		60
使用テキスト：				その他参考文献など： 文部科学省『幼稚園教育要領解説』 フレーベル館		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ)： 幼児理解は保育の基盤となるものです。多様な視点から、また共感的に理解できるよう学んでいきましょう。						